



窓口で強盗に対応する職員

防犯意識の向上へ ～防犯訓練で対応確認～

藤里支店は12月6日、能代警察署の指導で、金融機関を狙う強盗事件を想定し防犯訓練を行いました。

訓練は警察署員が強盗犯役となり、金融窓口で職員に刃物を突き付けて現金を要求し、奪って逃走するという想定で実施されました。職員は犯人への対応、警察官への対応等一連の流れを訓練しました。強盗模擬訓練終了後は、特殊詐欺被害の対応としての訓練も実施し、防犯意識の向上を図りました。



将来に向け青年部の存在意義を確認した青年大会

青年部の未来語る

～青年部協議会70周年祝う～

秋田県農協青年部協議会は12月4日、創立70周年記念式典と県JA青年大会を開催し、これまでの活動を振り返り、地域農業振興へ決意を新たにしました。

大会の青年の主張発表には当JAから青年部長の大塚裕成さんが出場。「農家のせがれとしての使命とやりがい」と題し、新規就農により農業に対する意欲が増したが、その時々苦勞したことや回りのサポート事例などを交えて発表し、優秀賞に輝きました。

また、県JA青年部協議会70周年を記念したパネルディスカッションでは当JAから伊藤達也さんがパネリストとして登壇。「農協離れ 盟友減少 活動縮小 JA青年部には未来はあるのか?」と題する秋田県農業?と題し、意見交換を行い、未来を見据えた秋田県農業の展望を語りました。



主張発表をする大塚さん

多様な意見を反映 ～本支店運営協議会開催～

本店・支店では12月12日から19日まで本支店運営協議会を管内4カ所で開催しました。

メンバーは役員、総代、班長、生産者代表、青年部、女性部、准組合員の代表で構成されており、JAを取り巻く環境や各事業の取り組みなどを説明・報告するとともに、JAに対する意見や要望の把握を行うことを目的に毎年開催されています。

JAでは事業や組織運営などへの多様な意見を踏まえ、組合員の声を反映した運営に取り組んでまいります。



挨拶をする工藤組長（藤里支店運営協議会）

災害に強い栽培管理へ ～白神ねぎ栽培講習会～

白神ねぎ部会（大塚和浩部会長）は12月12日、白神ねぎ栽培講習会を開催し5年度の生育状況を振り返りながら、新年度に向けた栽培管理等を学びました。

講習会には白神ねぎ生産者や肥料メーカー、能代市ねぎ課の担当者など約80名が参加。ねぎ栽培先進地の取り組み事例や、災害に強いねぎ栽培に向けて、肥料等の資材について講習を受けました。

参加者は災害に強い効果的な施肥等、改めて管理のポイントを確認しておりました。



熱心に聴講する生産農家



手際よく荷下ろし作業をする職員

地域の環境保全へ ～廃プラ9トン回収～

農業用廃プラスチックの回収作業が11月30日に、管内3地区の営農センターで一斉に行われました。

肥料袋や古くなった育苗箱、農業用ビニール資材などが各営農センターに搬入され、廃プラを持ち込んだ農家組合員は延べ52人。9トンの廃プラが回収されました。

廃プラ回収作業は年3回実施しており、リサイクルすることで環境保全と資源の有効利用に役立てることにしております。次回3月を予定しております。

熊の被害状況学ぶ ～女性部二ツ井支部冬期講座～

女性部二ツ井支部は12月12日、部員ら75名が参加し第1回目の冬期講座を行いました。

講座では「今年の熊の被害状況について」と題し、山本連合猟友会・常盤支部長の高博康氏が今年の農作物の被害状況や熊の生態などについて笑いを誘いながら説明。また、熊と出会った時の対処法など寸劇を交えて、楽しく講演を行いました。

後半は雑巾作りを行っており、年度内には寄贈されたタオルなど、集まった雑巾を管内の小学校へ寄贈することとしております。



熊（㊦二ツ井支店長）と出会った時の対処法学ぶ

家庭介護詳しく ～女性部藤里支部冬期講座～

女性部藤里支部は12月6日、「冬期講座」の開講式を行いました。

部員の交流などを目的に、毎年農閑期の冬に開く講座で、部員ら27名が参加。今後の開催日程と今期、初となる講座では「介護と終活のお話」を学びました。

講座では経済部の高橋次長が講師となり、介護が必要となった時の基礎知識や、終活の目的と意味を具体的な事例を交えて説明。参加者は家庭介護の難しさなどを実感しておりました。



家庭内介護に理解を深めた参加者

